

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 離島医療圏における輸血医療の実態に関する調査

[研究責任者] 臨床検査科 部長 長井一浩

[研究の背景]

わが国には多数の有人離島が存在していますが、そのような離島における医療提供体制は慢性的な医師不足・医療資源の制約を抱えており、本土の医療機関とは質的に異なる固有の課題を有しています。

輸血に用いられる血液製剤は、有効期限が短くかつ代替品のない生命維持に不可欠な医薬品です。離島では輸送手段（空路・船舶）が天候やダイヤ等に左右され、緊急発注への迅速な対応が困難な場合があります。そのため、普段から在庫を保有しているような医療機関においては、結果的に慢性的な在庫過多状態を招き、廃棄率の上昇に繋がっています。

さらに近年は、少子高齢化の進展並びに地域の過疎化等に伴う医療環境の変化、輸血専門の検査技師の人員不足、日本赤十字社血液センターの配送体制変更なども重なり、離島の輸血医療環境は大きく変化しつつあります。しかしながら、全国の離島医療機関を網羅した実態調査は非常に少なく、現状・課題をより正確に把握するための基礎データが不足しています。

本研究では、全国の輸血療法実績のある離島の医療機関を対象とした多職種からのアンケート調査を実施します。この取り組みを通して、輸血療法に係る実態と課題を明らかにすることによって、離島医療における安全かつ持続可能な輸血医療を患者さんに提供出来る体制の確立に向けた政策提言や学術活動のための基礎情報を獲得できます。

[研究の目的]

全国の離島に所在する医療機関における輸血医療環境の現状（施設基準・体制・供給状況・緊急対応について）を把握することで、離島特有の構造的課題を明らかにします。

[研究の方法]

- 本研究は、全国の離島に所在する医療機関を対象としたアンケート調査研究です。患者さんへの個人情報の利用や患者さんへの直接の関与は致しません。
- 研究期間：倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日
- 利用する検体、カルテ情報
いずれも使用しません。

●情報の管理

アンケートで得られた情報は、研究代表者機関である NHO 長崎医療センター臨床検査科にインターネットを介して提出され、集計、解析が行われます。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：NHO 長崎医療センター 臨床検査科 長井一浩

●その他の共同研究者：

東京医科大学八王子医療センター	臨床検査科	田中朝志
大分県姫島村国民健康保険診療所	所長	三浦源太
長崎県五島市福祉保健部国保健康政策課	診療所長兼企画監	前田隆浩
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科離島・へき地医療学講座		宮田 潤
高知大学医学部家庭医療学講座	教授	阿波谷敏英

[個人情報の取扱い]

この研究では、患者さんの個人情報は取り扱いません。

また、本研究では、回答者個人を特定する情報は一切収集しません。回答は匿名で行われ、病院名と個人が紐づくことはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター
臨床検査科 部長 長井一浩
電話番号： 0957-52-3121（代表）